

リトルリーグがやって来た

コロラド州の野球チームと交流

7月27日、曲り田野球場でアメリカリトルリーグのファントムエリート野球チームと、二丈ファルコンズ、そして伊都ベースボールの交流試合が行われました。

このチームは、アメリカ国内でも実力のあるチームで、大リーグで活躍する日本人選手を見て、来日を決めたとのこと。

選手たちは、日本の湿度の高い暑さに悩まされながらも、ホームステイなどを通じて子どもたち同士の交流を深めていました。



「日本の選手は野球をよく知っている」との感想を語っていました

火伏地蔵、老松神社で山笠を奉納

9行政区の山笠が市街地を走る

糸島(前原)市街地で7月24日と25日に火伏地蔵、老松神社の夏祭りが行われました。

このお祭りは、24日に火伏地蔵、25日は老松神社に山笠を奉納するもので、市内の9行政区(上町中央、上新町、前原東町、北本町、南本町、前原西町、北新地、筒井町、老松町)の山笠が市街地を練り歩きます。

14時には旧消防署前に9つの山笠がそろい、30分後の出発の合図とともに、次々に山笠が出發。市内を豪快に練り歩きました。



猛暑に負けず、大きな掛け声で山笠を走らせていました

東の空の真っ赤な夕焼け

雷山空襲とその記憶を語り継ぐ

8月1日、北新地公民館で「戦中・戦後を語り継ぐ会」が開催され、会場には小学生から高齢者までいっぱいの人が集まりました。

これは北新地老人クラブが「戦争の惨劇を繰り返してはならない」と5年前から自治会や子ども会と一緒に開催しているものです。

今回は、65年前の6月19日「雷山空襲」のお話。6歳の時に空襲を体験した柴田榮一さん(蔵持)が、幼いころの記憶を子どもたちにも分かるよう語りかけていました。



東の高祖山の上空が真っ赤に燃えていたことなどを語る柴田さん

糸島市誕生後、初の体育大会

競技での健闘を誓い開会

糸島高校の野球部や剣道部の活躍など、スポーツの明るい話題が多い夏。糸島市が誕生して初めての糸島市体育大会総合開会式を8月1日、東風小学校体育館で開催しました。

旧市町の体育協会の合併で、糸島市体育協会は21競技団体、約5500人の加入者と育成団体1団体を含む協会となりました。

開会式では選手宣誓などの後、競技が開始。夏のスポーツの祭典が始まりました。秋にはスポーツフェスティバルも開催されます。



記念すべき第1回目の糸島市体育大会の選手宣誓

キャンプで体力と友達づくり

雷山校区の子どもキャンプ

雷山校区では、7月31日から8月2日までの2泊3日の日程で、校区の子どもたちを対象に、キャンプを行いました。

この取り組みは、子どもたちの協調性を高め、友達と体力づくりを目的に毎年行われており、今回は23人の小学生が参加しました。

初日は、二丈岳への登山。加茂ゆらりんこ橋から、二丈溪谷を通り頂上へ。夜は、雷山国際キャンプ場でキャンプを行い、夏の楽しい思い出になりました。



加茂ゆらりんこ橋を渡り、二丈岳に向かう雷山っ子たち